

## 《Lesson 1》 間接疑問文に使われる疑問文の形

間接疑問文 = 「肯定文」「否定文」「疑問文」のいずれかに「疑問文」が足される形。

<例1> 何をあなたが持っているのか、私は知りません。

(何をあなたは持っているのですか? + 私は知りません)

<例2> なぜ彼がここにいるのか、あなたは知っていますか?

(なぜ彼はここにいるのですか? + あなたは知っていますか?)

<例3> 誰が一番背が高いか、私は知っています。

(誰が一番背が高いのですか? + 私は知っています)

<ポイント>

疑問文が普通の疑問文の形にならず、以下の形になる。

疑問詞 + 肯定文

(疑問詞 + 主語 + be動詞/一般動詞 + ~)

\*ただし、主語をたずねる **who/what** の場合は、疑問文と同じ形になる

<例> What do you have? (あなたは何を持っているのですか?)

→ what you have

Why is he here? (彼はなぜここにいるのですか?)

→ why he is here

Who is the tallest? (誰が一番背が高いのですか?)

→ who is the tallest (主語をたずねる形なので、疑問文と同じ形)

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。